

環境省 釧路湿原野生生物保護センター主催。

猛禽類医学研究所 絵を通した希少種・自然保全の理解を深めるイベント報告

＊猛禽類医学研究所：環境省より委託を受け希少猛禽類の救護および野生復帰訓練を行っている施設



2018年7月 北海道・釧路にて、環境省主催のイベント（北海道に生息する猛禽類たちをはじめとする希少種に関して一般の方に理解を深めてもらうことを目的としたイベント）へ講師として参加をしてまいりました。前半は猛禽類医学研究所の方による鳥に関する講義、後半は私の活動のご報告と共にお絵描き教室を開催致しました。北海道内・外合わせて約70名の方にご出席をいただき盛況のなか修了することができました。



センターには、傷つき保護され自然復帰を目指している猛禽類たち・野生復帰をすることができず保護されている猛禽類たちが生活しています。野生復帰できない猛禽類たちの多くは「人間」が原因となっている鉛中毒や風力発電の風車による事故の被害者です。希少種が「人間」が原因となり生態系が崩れようとしている事実を多くの方に知っていただき、「猛禽類たちを守る＝生態系を保護する＝自然が守られる＝人の生活する環境も守られる」このことをご理解いただく切掛けに今回のイベントがなれていたらとても嬉しいです。イベントは北海道新聞さんにも取材・教育関係者・博物館学芸員の方にもご出席いただき多くの方にご注目をいただく会となりました。準備から会の運営など大変お世話になりました猛禽類医学研究所の皆さまに感謝です。センターでは啓発活動のために寄贈した等身大のシマフクロウの絵（サーモス社マグカップのデザイン原案）とも数年振りに再開？することが出来ました。希少種保護だけでなくその生息地が守られるようこれからも保全のお手伝い頑張ります！

Society of Animal Artists 岡田 宗徳